

「今後のごみ減量施策のあり方 指定袋制導入の具体的あり方について(答申) (案) に寄せられた市民意見について

1 概要

平成17年6月に審議会によりとりまとめられた標記の答申(案)について、次のとおり市民意見の募集を行った。

- (1) 募集期間 平成17年6月14日(火)～平成17年7月13日(水)
- (2) 周知方法 新聞掲載, 区役所等でのビラ配置, 審議会事務局(循環型社会推進課)ホームページ, 出前トーク
- (3) 提出方法 郵送, ファクシミリ, 電子メールのいずれか(締切日到着分まで有効)

2 意見件数

302通817件

内訳	「1. 指定袋制導入の背景」に関する意見	199件
	「2. 京都市が導入すべき指定袋制の検討経過」に関する意見	34件
	「3. 京都市が導入すべき指定袋制の具体的内容」に関する意見	249件
	「4. 指定袋制導入にあたっての留意点」に関する意見	312件
	その他の意見	23件

3 意見の概要

【「1. 指定袋導入の背景」に関する意見】

(1) 基本的な考え方 京都市におけるごみ処理のあり方 (意見総数 86件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らすためには市民の責任だけでなく、生産者や企業の責任を追及すべき ・過剰包装、過剰なチラシの配布等、事業者の製造・販売のあり方を考えるべき ・企業の努力により、消費者がごみを出さなくて済むよう工夫すべき ・製造者・販売者である企業が容器包装などのごみの回収を行うなど、応分の負担をすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・行政の努力を本気で見せてもらわなければ困る ・行政は何をするのか具体的に見せていただきたい
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者による消費段階でのごみ減量を進めるような取組が他自治体で行われていないか研究してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを減らすための販売方法について、市民・事業者・行政の三者が話し合う場を設けてはどうか
(1) 基本的な考え方 市民への多様なリサイクル機会の拡大 (意見総数 113件)
<ul style="list-style-type: none"> ・焼却に頼らず、名古屋などの例を参考にもっと分別を進めるべき
<ul style="list-style-type: none"> ・缶・びん・ペットボトル三種混合収集をやめて分別を細かくすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・分別しすぎるのは問題 ・分別品目の増加ではなく、ごみ減量につながる効果的な分別を進めてほしい ・有害ごみを分別収集してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・拠点回収ボックスを増やしてほしい ・市民の自主的取組をサポートしてほしい ・地域の人が力をあわせてごみ減量に取り組めるよう考えなければならない ・コミュニティ回収やリユースびん回収を一部の地域だけでなく全市で取り組むべき ・古紙集団回収へのシフトをアピールすることが肝要 ・リユースびん普及に向けて支援していただきたい
<ul style="list-style-type: none"> ・油や紙パックの回収に協力したら景品をもらえるようにすれば取組が進むのでは ・生ごみを堆肥化することができることを市がもっと市民にアピールすべき ・できるだけ再利用してごみ減量すべき ・デポジット制を実施してもらいたい ・どの地域でも古紙回収業者が段ボールを持って帰ってもらえるように指導してほしい

【「 2 . 京都市が導入すべき指定袋制の検討経過」に関する意見】

(1) 目的 分別・リサイクルの促進 (意見総数 2 件)
・ ペットボトルの入った家庭ごみなど分別の徹底されてないごみが一緒に収集されるのを見ると , 結局全部一緒に処理されてしまっているのかと疑問に思う ・ 現在でも半透明・透明の袋で排出しなければならないのに守られていない
(4) 指定袋制導入方式の絞り込み 単純指定袋制か有料指定袋制か (意見総数 3 2 件)
・ 有料化は税金の二重取りである ・ 税金の負担増であり , 他の不要不急のもの (大型工事など) を削ればよいことである
・ 市民アンケートの少数意見を取り入れての有料化は , はじめから有料化ありきと推測できるので納得できない
・ 審議会は市民の意見を十分に聞くべき

【「3.京都市が導入すべき指定袋制の具体的内容」に関する意見】

有料指定袋制導入支持の立場からの意見（意見総数 86 件）

- ・ごみ袋の有料化に賛成
- ・早急に導入し，不都合な点が生じた場合には直ちに改善すればよい
- ・有料化すればごみは減ると思う
- ・ごみの発生抑制のためには，有料制にすることが必要
- ・現実の市民の行動を考えると賛成せざるを得ない
- ・ごみ減量に対する市民の関心が高まる観点から賛成である
- ・ごみを処理するにはお金がかかるという意識を市民全員に持ってもらう必要があるので賛成
- ・ごみを出す量に応じた費用を負担するのは自然のことと思う
- ・温暖化を防止するため，ごみに対する意識啓発として期待する
- ・ごみ減量・リサイクルを進めるためには啓発だけでは限界があると思う。より一層の減量化を進めるためには有料化もやむを得ない
- ・有料化する前にもっとすべきことがあるという意見もあるが，できることはすぐに実行すべきである
- ・実施が遅いくらいである。他府県ではもっと以前より実施されている
- ・有料化をきっかけにして，市民・行政ともがコストの問題を考え直すべき
- ・リサイクルセンターの見学をしたが，納得せざるを得ない状況である
- ・環境・ごみ問題に進んだ経験を持つドイツなど諸外国の経験に学びながら進めてほしい
- ・全市民公平に行われるべきであり，特例は認めないこと
- ・現行の自由袋排出からスムーズに移行するよう配慮して実施してほしい
- ・市民や経団連の反対により条例制定できないことのないよう，空き缶条例制定時の教訓を生かして，有料化条例を確実に制定してほしい
- ・学生マンションなどのごみの出し方に悩まされており，きっちり有料袋で出してもらおうようマンションオーナーや不動産屋に呼びかけたいと思う

有料指定袋制導入不支持の立場からの意見（意見総数 102 件）

- ・ごみ袋の有料化に反対
- ・「市民の負担を増やす」＝「ごみが減る」という単純なものでは根本的に解決しないと思う
- ・有料化によりごみを減らすという考え方には賛成できない
- ・何か問題があれば市民に負担を求めるという安易な方向には納得いかない
- ・ごみ処理に関する費用は全て自治体が持つべき
- ・有料化はごみ減量につながらないと思う
- ・有料化せずに大きな成果を挙げている都市もある
- ・有料化しても市民にはごみの減らしようがない
- ・有料化しても資源消費量が減るとは思えない
- ・有料指定袋を買えない人はごみを出せなくなるので不公平である
- ・有料化は公平であるようで公平でない
- ・官製のものでありがたかったことはないので有料指定袋も反対

<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋は粗品やみやげ物の袋などを使うので指定袋を買う必要はない。ごみが増えるだけである ・社会的に貢献しようとして活動している人ほど物は多くなり、ごみも多くなる。いいことをしているのに負担が増える仕組みはおかしい ・ごみ袋を指定すること自体、家庭でのごみ出しや制度導入までの準備など、いろいろな意味で手間がかかる
<ul style="list-style-type: none"> ・有料化でごみ減量を意図することは、市民・行政が協力して種々の取組を行おうとする気持ちを阻害するものである
<ul style="list-style-type: none"> ・有料指定袋制にするのではなく、繰り返し使えるごみ回収容器を全世帯に配付すべき
<ul style="list-style-type: none"> ・大量にごみを出す一部の産廃業者をしっかりと摘発すべきであるが、そのために有料化されるのは困る
<ul style="list-style-type: none"> ・有料化以前に、自動車乗り入れ規制や道路の整備、CO₂排出工場に対する規制など対応すべきことがあると思う
<p>袋の規格について（意見総数 34 件）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ひも付きにしてほしい ・丈夫で破れにくい袋にするべき ・小さなサイズの袋を作ってほしい ・カラス対策として黄色の袋やつついても破れない袋にしてほしい ・ごみの種類別に複数種類の袋を作ってほしい ・袋に氏名を明記するようにすべき ・猫が嫌がるにおいを付けた袋にすべき ・袋を透明化すると缶の抜き取りを助長したりカラスがつついたりする恐れがある。またレジ袋を子袋として使えば中が見えない ・透明にすれば美観が損なわれる ・分別をきっちりするために透明な袋にすべき ・有料化されればごみを詰め込むため逆に重くなり収集作業が危険
<p>袋の料金設定（意見総数 27 件）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・袋の価格が高すぎる ・できる限り安く設定してほしい ・あまり安く設定しては減量効果がないと思う ・少数単位で販売すべき ・適当な価格設定といえる ・年々増額することのないよう配慮してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみ袋は単純指定袋にすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・市が世帯人数に応じて目標を設定し、最低の量までは袋を無料で配り、それを越えた分は有料にしてはどうか
<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの袋の価格は安く抑えるべき

【「４．指定袋制導入に当たっての留意点」に関する意見】

(1) 市民の理解と協力の確保 (意見総数 4 0 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政として市民に十分な説明を行い，理解と合意を得ることが大事である ・ ごみ袋の価格については市民・事業者の理解を得られるよう今後もより行政の努力を期待する ・ 併せて実施する減量・リサイクル対策については市民・事業者の理解を得られるよう今後もより行政の努力を期待する ・ 全くといっていいほど市民の意見を聞かずに有料化しようとするのはあまりにも横暴である
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本格実施の前に試行期間を設けること ・ 周知の意味を含めて，指定袋を一定数各戸に配布すべき
(2) 手数料の運用方法について (意見総数 2 4 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 収入の用途があいまいである。収入金額と使徒を明確に開示すべき ・ 用途方法に市民意見を反映してほしい ・ 収入は環境施策に使用すべき
(3) 指定袋制と併せ導入が望ましい施策 (意見総数 6 5 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民への徹底した分別収集の啓蒙指導の努力にお金を惜しまない本気の取組を見せてほしい ・ ごみ減量のためには，情報提供等により市民や企業のごみ減量に対する意識の徹底を最初にすべきである ・ NGO，学校などと連携した子供の環境教育の強化による意識改革が必要 ・ ごみ減量，環境問題，モラルの向上に関する市民との話し合いの場をもっともってほしい ・ 転居時には必ずごみの出し方を渡すべき ・ ごみ問題の現状や最終処分場の問題，他都市でのごみ減量成功事例や市の問題点や実状と対策など情報を分かりやすくしっかりと提供してもらいたい ・ 市民や企業への教育と細やかな援助によってしかごみ減量は難しいと思う ・ 家庭でできる生ごみ減量対策を提案してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチックがまだ全市に拡大されていない。指定袋制と同時に拡大するのが ・ はじめからごみを出さない工夫をすべき
<ul style="list-style-type: none"> ・ まだ使えるものをリサイクル（リユース）して利用してもらえる公共の場がほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ エコクッキングに関する料理教室を開いてもらうことで生ごみを減量できる
(4) ごみ処理・リサイクルシステムの効率化 (意見総数 6 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化を行うのであれば，民間委託制度も検討すべき ・ ごみ焼却炉などの高価な大型施設の建設，その運営経費などの問題を市民に明らかにすべき ・ ごみ及び資源ごみの処理費用を廃棄物会計の手法で算出し，市民に分かりやすい形で公開すべき

(5) ごみ減量効果等の把握 (モニタリング)(意見総数 5 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別によるごみ減量効果を明らかにしてほしい ・ 有料化導入によるごみ減量効果を市民に目に触れるような広報に努められたい
(6) 不法投棄対策 (意見総数 6 1 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型ごみと同様に有料化により不法投棄が増える ・ 導入に当たっては不法投棄の増加を防ぐ手立てを提案し対策を強化すること
(7) 事業系ごみ対策 (意見総数 3 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業ごみは家庭ごみに絶対混入しないでほしい ・ 事業系ごみ対策にも、もっと力を入れるべき ・ 事業系の分別も家庭系と同様に進めるよう市が徹底すべき
(8) その他 ステーションの管理体制 (意見総数 2 9 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化実施に当たっては、時間を決めて現場で責任ある監視者をつけ指導してもらいたい ・ 管理する人を地元の方に委嘱すべき ・ パッカー車同様に指導車で巡回し、ごみの出し方マナー & 収集車側のマナー指導を行うのはどうか ・ 分別指導を自治会、町内会にお願いしてはどうか ・ 分別ルールを守るよう市民の中で話し合いの場を多く持たなければならない ・ ルールを守らない者に対する罰則等も検討するのか ・ レジ袋など指定袋以外の袋による不適正排出ごみも多くなると思う ・ 広告などで中が見えないように排出された場合、危険物が入っていても見えない
<ul style="list-style-type: none"> ・ 不適正な排出については毅然とした態度で絶対に収集しないようにしてほしい ・ 集積場所近くに住んでおり、不適正排出され取り残されたごみを誰が処理するのか
<ul style="list-style-type: none"> ・ 排出者責任を明確にするため戸別収集にすべき ・ 家庭ごみは各自敷地内に責任を持って排出すべき
(8) その他 ごみ処理サービスのあり方 (意見総数 4 7 件)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年者控除の廃止、国民健康保険料の引上げなど、年金生活者にとって大変なときに、さらなる負担は市民生活を圧迫されるので困る ・ 低所得者にとってこれ以上の負担は苦しい ・ 失業後の再就職も困難な時代に市民にさらなる負担をかけるべきではない ・ 老人、要介護者、乳幼児を抱える家庭では紙おむつをたくさん使用するので有料化の導入は大きな負担増となる ・ 高齢者にとっては経済的に袋の入手が困難になる ・ 排出量の少ない高齢者向けに比較的安い袋を設けるべき ・ 有料化ではなく福祉対策を強化してほしい
<ul style="list-style-type: none"> ・ 有料化により自主的な美化活動を市民がしなくなる可能性がある ・ 家の前の道路のごみ拾いをした後のごみを出す場合にも有料指定袋を買わなければならないのか ・ 自主的に道路のごみを清掃した場合も有料指定袋を買わなければならないのか

<ul style="list-style-type: none"> ・回収時間を一定にしてほしい ・ごみ収集車からごみが落ちないように，収集作業員のごみ袋の扱いをもっと丁寧にしてほしい。さもないと，落ちたごみを掃除した人に追加の負担がかかることになる ・民間委託モデル地区を決め，他地区と親切度を比較してはどうか
<p>(8) その他 レジ袋対策について (意見総数 1 4 件)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ袋としての使用を禁止すべき ・レジ袋でも出せるようシール制にしてはどうか ・企業はレジ袋を有料化するなどしてレジ袋を減らすべき ・行政とスーパーがタイアップしたレジ袋削減策を考えてほしい ・京都には古くからバッグ作りの名人がいるので，そういったところと連携して買い物袋の普及を図ることができないか
<ul style="list-style-type: none"> ・厨芥類は新聞に包んでごみ袋へ入れるようにしたらよい
<ul style="list-style-type: none"> ・市民が指定袋を入手しやすいよう配慮すること ・袋製造業者や小売店舗の募集・選定の公表を願う
<p>(8) その他 指定袋の流通システムの整備 (意見総数 1 1 件)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・店舗内に粗品用ポリ袋の在庫が多くあるが，有料指定袋と交換していただけるのか ・現在の青袋や黒袋の製造を早くストップさせること ・これまでごみ袋を製造していた会社にもかなり打撃を与えるのではないか ・袋は少数単位で売ってほしい
<p>(8) その他 マンション等集合住宅対策 (意見総数 3 件)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・収集業者が回収しているマンションも同じように有料指定袋にすべき ・収集業者が回収しているマンションの分別を進めるにはクリーンセンターで資源ごみを受け入れることが必要
<p>(8) その他 京都の地域特性についての配慮 (意見総数 4 件)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・一人住まいの若者のマンションにも説明を徹底してもらいたい ・学生マンションの排出管理が気になる

【その他の意見】

指定袋制の具体的内容を検討する際参考にすべき事項（意見総数 11 件）

- ・ 有料指定袋制と垣根を設けた家に対する助成制度は相反するものであり、植木ごみも有料になるのであればこの制度は普及しないのでは
- ・ リサイクルすることでごみの予算が軽減されることを示すべき
- ・ 行政以外による既存のリサイクルを潰すことがあってはならず、雇用拡大のためにもこれらを推進すべき
- ・ 区長に大幅に権限委譲することにより、区ごとにごみ減量の取組を実施し、また、ごみ量も把握するとともに、区のごみ減量度合いに応じて地域に還元するなど、区民の努力が反映される仕組みにしてほしい
- ・ 現状、市収集に段ボールを出してよい地区とそうでない地区があるが、有料指定袋導入後はどうなるのか
- ・ リサイクル商品購入時に景品として指定袋を渡すなどの取組をするべき

答申（案）の内容自体とは直接関係しない事項（意見総数 12 件）

- ・ 観光客から税金を取って、ごみ処理費用に充てることも考えてよいと思う
- ・ 容器の問題など国をも動かす力が今の京都には必要
- ・ 自治体の無駄遣い・職員厚遇を先に解決すべき
- ・ 業務職員の質を向上させること
- ・ カラスの巣を取り除くべき
- ・ これまでからごみ減量に自主的に努めている
- ・ 市が2年に1回行うイチョウの伐採を年1回にしていきたい
- ・ 落ち葉のシーズンには道路清掃車の出動回数を増やしてほしい

4 市民意見への対応

以上のような市民意見を踏まえ、当審議会は次の4点について答申(案)への反映を行った。

- (1) モノを生産・販売する事業者の責任を求める意見を受け、京都市は、拡大生産者責任・事業者責任の徹底を図り、ごみの排出が最小限に抑制された社会経済システムに転換していくよう強く働きかけていくべき旨の記述を追加した(本編2ページ)。
- (2) 有料化による不法投棄の増加を懸念する意見を受け、京都市は、不法投棄対策の一層の強化により、そうした懸念の払拭に努めるべき旨の記述を追加した(本編11ページ)。
- (3) ボランティア等の自主的な美化活動の際にも有料指定袋制を使用することとなれば、そうした活動が停滞するのではないかとの意見を受け、京都市は、そのような市民の善意の活動については別途対応を検討するなどの配慮をすべき旨の記述を追加した(本編12ページ)。
- (4) 今回の市民意見募集には、300通以上という非常に多くのかつ多様な意見が寄せられたことを受け、京都市は、これらの意見を踏まえて有料指定袋制の具体化を進め、市民への十分な説明と周知を図ることにより、幅広い理解と協力が得られるよう努めるべき旨の記述を追加した(本編14ページ)。